



# 仏像



今年一月に八代目市川染五郎を襲名した松本金太郎くんを、この年末年始はいろいろなテレビ番組でよく見かけたような気がします。若干12歳にしてあの色気と雰囲気、とても綺麗で中性的な顔立ちに目を奪われました。そんな八代目市川染五郎の趣味がなんと「仏像」なんだそうです！（若いのに渋い！）たしかに近年、「イケメンぞろいの新薬師寺の十二神将像」や「かわいい仏像」など、仏像ブームで、若い子たちにも仏像は人気みたいですね。いろいろな仏像の本も出版されており、この図書館にも写真や漫画など、いろいろな仏像の本があるんですよ！そんな「仏像」の本を今月は紹介します！あなたも仏像の虜になるかも！？

『仏像のふしぎ』瓜生中著 白夜書房 2008  
『マンガで教養 やさしい仏像 一生モノの基礎知識』吉田さらさ監修  
夏江まみマンガ 朝日新聞出版 2016

そもそも仏像ってなんだろうというところから説明してくれます。仏像は大きく分けて4段階あるんですって。すこしまとめてみましたよ（身分階級が高い順です。）

## 如来

仏教を考え出したお釈迦様がモデル。一枚の布をまとっただけのシンプルなスタイル。（ただし如来のなかの最高の地位である「大日如来」は、アクセサリを身につけている！）手の形はそれぞれ違う。眉間のうえにほくろ、手には水かき、瞳は青く、身長は約5メートル！頭の上にもりあがったこぶがある、舌はものすごく長く話術に長ける！もはや人間ではなく、超人！釈迦如来、阿弥陀如来などが有名。

## 菩薩

如来まであと一歩の仏像。悟りをひらく前の王子様。巻スカートに、頭や腕にきらびやかなアクセサリ、手のかたちや持っているものもちがう。坐っているものもいる。単体でいることももちろんあるが、なかにはお付きの者を従えているものもいる。おだやかでやさしい表情をしているのが特徴。観音菩薩や文殊菩薩などが有名。

## 明王

恐ろしい顔をした仏像。ただ単に怒っているのではなく、やさしく諭しても言うことを聞かない者へ厳しい態度で戒める意をもつ。だらしのない人を心配するあまりのお父さんの怒りももつ。ただし、それに反して体は華奢で少年のよう！顔や目、腕、足がいくつもあるものが多く、アクセサリを身にまとい、武器を手にもち、おどろおどろしい格好はホラー映画のよう。不動明王や愛染明王などが有名。

## 天

仏教という教えをガードする、守る仏像。ゆえの筋骨隆々、ムキムキのまるでレスラーのような仏像。上半身裸のものもいるし、甲冑をつけたものもいる。性別がはっきりしていないのも特徴。四天王、金剛力士が有名。

イラスト付きそしてマンガでその仏像の特徴や意味がとってもわかりやすくかいてあります。また途中、コラムとして、仏像さんたちの顔の表情や、手の組み方やポーズの意味、仏像さまが包まれている光を現した光背【コウハイ】（後光が指すとよく言いますが、火や輪光など、仏像さまの後ろに光り輝くものことです。）の意味などもっています。普段お寺で何気なしにみていた仏像さまの姿かたちにはちゃんと意味があるんですね。ほかにもさまざまな仏像が存在します。たとえばずらりとならんで出迎えてくれる神々しい千体千手観音や世の中を救おうと一心に考えすぎて、髪の毛がボウボウに伸びてアフロのようにこんもりした頭の仏像や顔を割ったらその中からも顔・・・な仏像、口から仏さまを出す仏像、本当に手が千本ある仏像、戦乱のなか両手、脚、頭を失ってしまった仏像、うしろの者を振り返っている仏像や踊っている仏像、走り出しそうな仏像など・・・一風変わったかたちの仏像もあるんですよ！姿かたちは変わっていても、その姿はちゃんと救いの姿を表現していて、ちゃんとありがたい仏像たちなんです。なぜこのような姿になったのかも書かれているのでそのエピソードといっしょにながめると面白いかもしれませんね。この本に載っている仏像たちが普段いるお寺のリストも本のなかに載っているので、気になる仏像、推しの仏像を見つけたら実際に会いに行ってみるのもいいかもしれませんね

最後におまけで・・・仏像さんたちが大活躍するこんな絵本を紹介します！

『だいぶつさまのうんどうかい』  
苅田澄子ぶん 中川学（『世界でいちばん貧しい大統領のスピーチ』を描いた人です！）え  
アリス館 2017

各地の仏像さまたちが運動場に大集合して、運動会を開催。大きい仏像や、手が何本もある仏像、鬼の形相の仏像たちが汗水たらして行う、玉入れや障害物競走はそれはもうカオスです!!!前代未聞の運動会、いったい誰がいちばん強いのか？早いのか？上記に紹介した本を読んで、仏像のことを知ってから読むとさらに面白いかも

